

概要版

▶ 有料老人ホーム事業 高齢者活躍に向けたガイドブック

～高齢者の持ち味を活かしていくために～

一般社団法人全国有料老人ホーム協会
有料老人ホーム事業高齢者雇用推進委員会



(別冊)

>>目次

<本編>

第1章 はじめに

- 1 有料老人ホーム事業において、なぜ高齢者雇用が求められているか
- 2 有料老人ホーム事業において高齢者雇用を進める上での効果と課題
 - ① 高齢者雇用による効果
 - ② 高齢者雇用における課題

第2章 高齢者雇用推進のポイント

- 1 高齢者雇用を進める流れ
- 2 高齢者雇用推進のポイント
 - ① 身体機能や業務遂行能力の低下への配慮
 - ② モチベーションの維持・向上
 - ③ 勤務日数、時間、業務内容と賃金のバランス
 - ④ チームケア力の向上

<資料編>

有料老人ホーム事業において、なぜ高齢者雇用が求められているか

有料老人ホーム業界では、全従事者に占める高齢従事者（＝60歳以上の従事者）の割合は既に2割を超えている状況であり、人材不足を補う貴重な戦力となっています。

また、有料老人ホームでは入居者によって提供するケアやサービスの内容が多様です。それに対応するためには、従事者にも多様な年齢・経験・職種からなる「チームケア」力が求められます。

さらに改正高年齢者雇用安定法への対応が必要な現状を踏まえ、高齢者雇用推進が求められています。

有料老人ホーム事業において高齢者雇用を進める上での効果と課題

アンケート調査結果によると、高齢者を雇用する効果として、観察能力や技術、コミュニケーション能力といった点から、上に挙げた「チームケア力」への貢献、若手の教育役になれるといった点が挙げられています。

一方、課題もあり、管理者側と高齢従事者間で共通してみられたのは、身体能力の低下という点です。両方で認識に差異がある項目もあり、「モチベーションの維持」や「勤務形態や業務内容と賃金のバランス」は従事者側の認識が強く、管理者側の認識は弱いといった結果もみられます。

高齢者雇用を進める流れ

法人・ホームとして、次の流れで高齢者雇用を進めていきましょう。

① 高齢者雇用の基本方針の決定

- 
- (1) 現状把握
 - (2) 基本方針の決定・周知

② 仕組みづくり（制度の検討、決定）

- 
- (1) 制度の検討
 - (2) 仕事内容や就労条件の決定

③ 仕組みの運用

- 
- (1) 評価、振り返り
 - (2) 本人へのフィードバック

④ 見直し、改善

- 
- (1) 仕組みの見直し、改善の決定

②へ戻る

高齢者雇用推進のポイント

高齢従事者の働きやすい環境整備を目指して、法人・ホームの現状を確認しましょう。

① 身体機能や業務遂行能力の低下への配慮

CHECK!

- 1 高齢従事者の特徴や対応上の留意点等を理解したマネジメントをしていますか？
- 2 定期的に高齢従事者の身体状況や健康状態等を把握していますか？
- 3 体力的な負担や健康面の不安を軽減できるような勤務体制としていますか？
- 4 体力的な負担や健康面の不安を軽減できるような職場環境としていますか？
- 5 健康増進を積極的に支援していますか？

②モチベーションの維持・向上

CHECK!

- 1 高齢従事者に期待する仕事内容や役割を明確化していますか？
- 2 高齢従事者に経験の棚卸しを促していますか？
- 3 ホームと高齢従事者の認識を共有する場を設けていますか？
- 4 高齢従事者の仕事内容や役割を、ホーム全体にも周知していますか？

③ 勤務日数、時間、業務内容と賃金のバランス

CHECK!

- 1 仕事内容や役割に応じた賃金や評価の仕組みを設定していますか？
- 2 高齢従事者の業務遂行状況、心身の健康状態を確認、評価していますか？
- 3 面談等の場で、ホームと高齢従事者の希望や意向のすり合わせを行っていますか？
- 4 賃金や評価の仕組みをホーム全体にも周知していますか？

④ チームケア力の向上

CHECK!

- 1 様々な機会を活用して、従事者間の情報共有、コミュニケーションの活発化を図っていますか？
- 2 高齢従事者の人材育成・教育を行っていますか？

参考資料：高齢従事者向けパンフレット

年齢を問わず、経験の長い従事者が、ホームで自らの持ち味をどのように活かせるかを考える機会としてご活用いただくことを目的に作成したものです。

◎ あなたの持ち味を活かして働き続けるために

「持ち味を活かして働き続けること」は「チームケアの一員として力を発揮していくこと」ではないでしょうか。そのためのヒントをまとめました。

- 01 身体の変化に気遣い、心身の健康を維持すること
- 02 新しいことに挑戦し続けること。
- 03 自分の立ち位置や役割を客観視すること
- 04 周囲とのコミュニケーションをとること
- 05 これから活かしたいあなたの持ち味を見つけること
- 06 仕事に貢献できるような知識や技術を身につけること。

◎ あなたの経験を棚卸ししてみよう

あなたの「経験の棚卸し」をしてみましょう。そこから見えてきたあなたの持ち味を、有料老人ホームの仕事の中でどう活かしていきたいか、考えてみましょう。

- これまで担ってきた仕事内容、役割は？
- これまでに習得した知識や技術は？
- あなたの得意とする業務（不得意とする業務）は？
- これまでの経験やあなたの持ち味を、ご入居者やご家族に対して、また、上司や同僚に対して、今後どのように活かしていきたいですか？